

意見書案第3号

平成31年 3月20日

白老町議会

議長 山本浩平様

提出者

白老町議会議員 大淵紀夫

賛成者

白老町議会議員 小西秀延

白老町議会議員 松田謙吾

白老町議会議員 吉田和子

白老町議会議員 山田和子

国民健康保険の国庫負担減額調整措置の廃止と子どもに係る均等割保険料
(税)の軽減措置を求める意見書(案)

標記の意見書を別紙のとおり、白老町議会会議規則第8条の規定により提出いたします。

国民健康保険の国庫負担減額調整措置の廃止と子どもに係る均等割保険料
(税)の軽減措置を求める意見書(案)

国は子ども医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置について、全ての市町村が未就学児までは何らかの助成措置を実施している実態を踏まえ、各自治体の少子化対策の取り組みを支援する観点から、平成30年度より、未就学児を対象に減額調整措置を行わないこととしたが、未就学児までを対象とする医療費助成以外についても減額調整措置を直ちに廃止し、財政の健全化と長期的な安定運営を図る必要がある。

また、子どもに係る均等割保険料(税)については、加入者一人一人に均等にかかるため、多子世帯の保険料負担が大きくなっており、子育て支援の観点から、早急な見直しや新しい支援制度の創設が求められている。

よって、政府においては、国庫負担割合の引き上げなど、国民健康保険の財政基盤の拡充・強化を図り、国の責任と負担において実効ある措置を講ずるとともに、下記の事項を早期に実施するよう強く要望する。

記

1. 国民健康保険の国庫負担減額調整措置を廃止すること。
2. 子育て世帯の負担軽減を図るため、子どもに係る均等割保険料(税)を軽減する支援制度を創設すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出いたします。

平成31年 3月 日

北海道白老郡白老町議会議長 山本浩平

(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣、総務大臣